

研究に関するお知らせ
(研究課題名:「HIV-1 患者血中 Vpr に関するデータベースの構築と
エイズ病態理解への応用」)

- 「がん手術摘出標本中の全ゲノム解析」に関するお願い -

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療研究センターでは、研究所との共同研究として、以下にご説明する研究を行います。本研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

がん手術摘出標本中の全ゲノム解析

これまで、私達は、研究課題名:「HIV-1 患者血中 Vpr に関するデータベースの構築とエイズ病態理解への応用」の研究として、HIV-1（以下HIV）患者さんの血液中に存在するウイルス蛋白質を測定し、病態との関連性の有無を調べてきました。今回、解析対象としているウイルス蛋白質とがんの関連性を調べるため、肺がんや肝臓がんなどを発症した患者さんの癌組織中のゲノムDNAを解析することを計画しました。今回の解析では、改めて患者さんに検体の提供していただく必要はなく、すでに摘出された組織を使用させていただきます。解析方法としては、摘出標本からゲノムDNAを抽出し、全ゲノム解析を行うことで、ウイルス蛋白質の影響の有無を調べます。

■研究期間：理事長承認日～2023年3月31日

■研究の対象となる方

・ACCへ通院されている方のうち、当院で外科手術により癌組織を摘出された方

■研究に用いる試料・情報の種類

すでに摘出したがん組織標本からゲノムDNAを抽出し、解析します。
解析に必要なゲノムDNAを組織切片から抽出できる大腸がんや肺がん組織を使用します。

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。）

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター
難治性疾患研究部・部長 石坂幸人

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療研究センター・センター長 岡 慎一 電話：03-3202-7181(代表) 内線：2008	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 難治性疾患研究部・部長 石坂幸人 03-3202-7181(代表) 内線：2806
--	---

■掲示場所・交付場所

- ・診察室等の掲示
- ・HPへの掲載